

8 環境保全に関する取組について

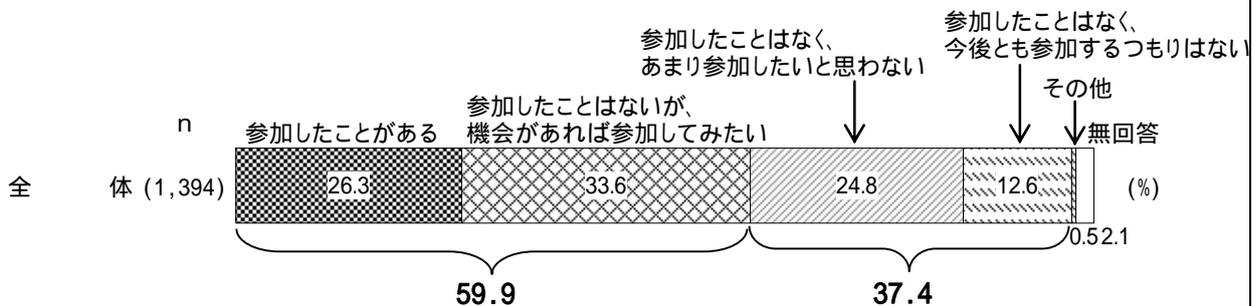
（1）環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動への参加状況

『参加意向あり（計）』が約6割

現在の環境問題は、人間のあらゆる活動がもたらす環境への負荷が自然の持つ復元能力を上回っていることから生じています。この解決のためには、一人ひとりの県民が日常生活において環境への配慮を行うとともに、環境保全のための活動に取り組んでいく必要があります。

問33 あなたは、これまでに県・市町村などの行政や民間団体などが実施する環境保全に関する講演やセミナー、あるいは植林や清掃活動などの環境ボランティア活動などに参加したことがありますか。（は1つ）

<図表8 - 1> 環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動への参加状況



環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動への参加状況を聞いたところ、「参加したことがある」（26.3%）が2割台半ばとなっており、これと「参加したことはないが、機会があれば参加してみたい」（33.6%）を合わせた『参加意向あり（計）』（59.9%）が約6割で高くなっている。

一方、「参加したことはなく、あまり参加したいと思わない」（24.8%）と「参加したことはなく、今後とも参加するつもりはない」（12.6%）を合わせた『参加意向なし（計）』（37.4%）は約4割となっている。（図表8 - 1）

【地域別】

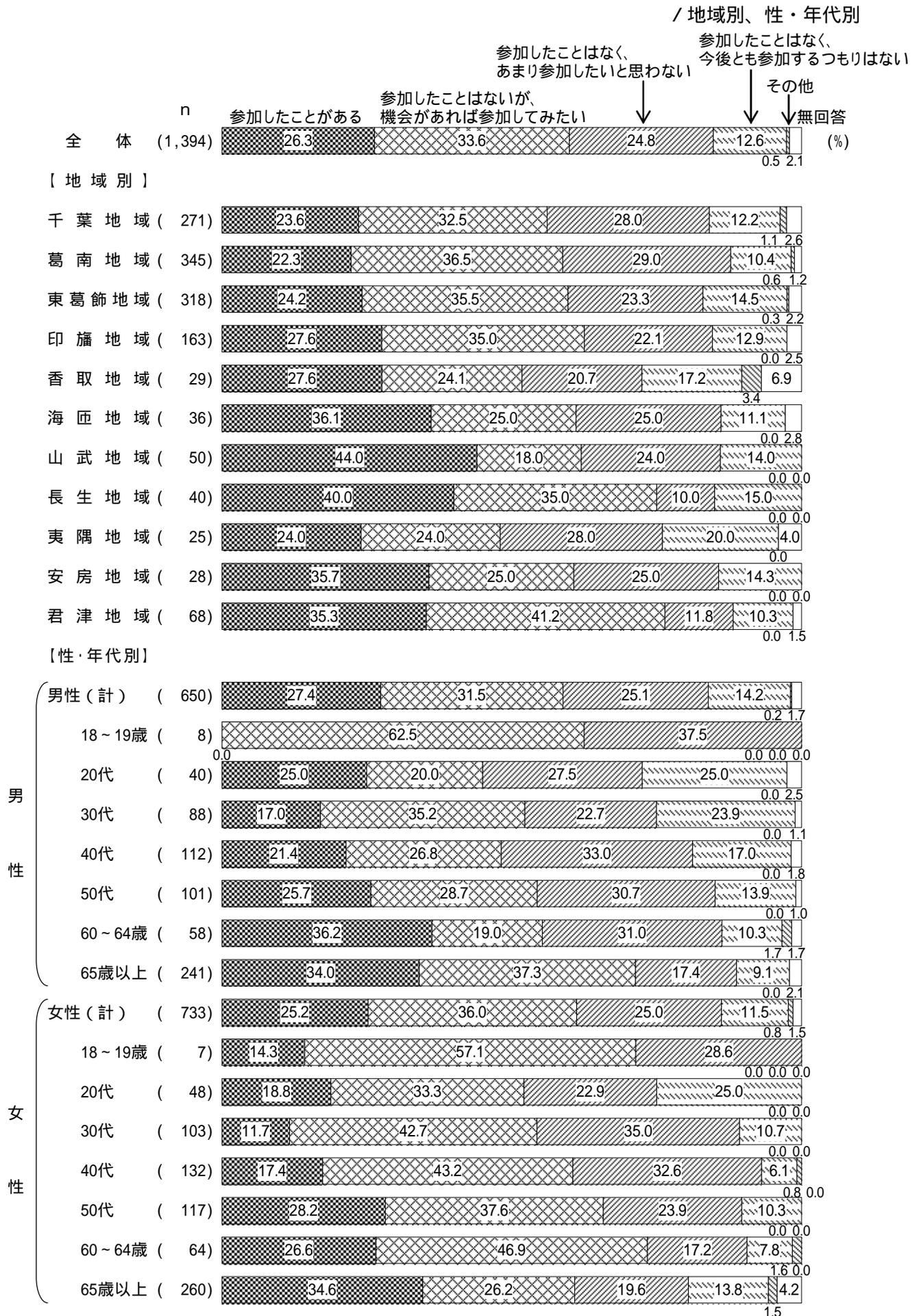
地域別にみると、『参加意向あり（計）』は“君津地域”（76.5%）、“長生地域”（75.0%）が7割台半ばで高くなっている。（図表8 - 2）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『参加意向あり（計）』は女性の60～64歳（73.5%）が7割台半ば、男性の65歳以上（71.3%）が7割を超えて高くなっている。

一方、『参加意向なし（計）』は男性の20代（52.5%）が5割を超え、男性の40代（50.0%）が5割で高くなっている。（図表8 - 2）

<図表8 - 2> 環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動への参加状況



このほかに、「環境保全に関する取組について」やここまでの質問（問33）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、106人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

「環境保全に関する取組」の自由回答（抜粋）

高齢の叔父が1人で実家の田畑を管理していますが、もう何年も手つかずの畑があり荒れ放題です。市や県・国がそういった耕作放棄地を企業等にあっせんし、利用してもらう事は出来ないのでしょうか。毎年の税金が大変だと言っています。（女性、50代、東葛飾地域）

家庭ごみを自宅の庭で燃やす人をもっと厳しく取り締まってほしいです。近所で毎日のように燃やすので、本当に迷惑だし、健康被害も心配です。たばこよりたちが悪いです。

（女性、40代、海匠地域）

ごみの分別を行う意味を啓発した方が良いと思う。市の広報で、燃えるごみが多く灰の処分が大変であることを知り、分別に気を配るようになった。（男性、30代、葛南地域）

不法投棄を厳しく取り締まる条例を制定する。（男性、65歳以上、東葛飾地域）

手入れを放棄した山林や農地などが許可・無許可を問わず産廃の山になっています。無許可の場合は県警の管轄ですが、とても手が回らないと思います。許可がある場合でも、業者の倒産による放置などが多いようです。県の積極的な取り組みを望みます。

（男性、50代、印旛地域）

道路、公園その他公共の場所でのごみ、悪臭、騒音等の対策にも積極的に取り組んで欲しい。

（男性、65歳以上、長生地域）

過剰包装の自粛推進。

（男性、65歳以上、東葛飾地域）

山林が荒れ放題となっている。野生動物の宝庫となっていて、近隣住民への悪影響が甚大である。特に山林については国や県が積極的に買収等して整備して欲しい。特に共有林等は維持管理が困難な状況なので早期対策を進め、サル、シカ、キョン、イノシシの撲滅に努めて欲しい。自衛隊等の協力も必要。

（男性、65歳以上、安房地域）

海に囲まれた県として、海の環境保全に力を入れて欲しい。

（女性、40代、葛南地域）

もっともっと広報活動すべきと思います。

（男性、60～64歳、葛南地域）